

Be The Inspiration

Rotary International District 2760

インスピレーションになろう

11

2018 NOV

2018-19 ガバナー月信



あなたの街でロータリーを！
あなたの街からロータリーを！

CONTENTS

- 2 …… 表紙のおはなし
- 3 …… ガバナー便り
- 5 …… ろーたりーぱっちわーく
- 9 …… 新着ニュース 他



インスピレーションになろう

表紙の おはなし

写真提供：
伊藤陽介分区分事（名古屋守山RC）



「オアシス 21」

ガラスで出来た「水の宇宙船」の大屋根がシンボルの平成14年にオープンした複合施設。
夜になるとライトアップされてカップルや家族連れにも大評判。
奥には、毎年開催されているワールドフード+ふれ愛フェスタ会場のテレビ塔です。
こちらプロジェクションマッピングで彩られています。



「尾張名古屋は城でもつ」

名古屋と言えば金のシャチホコで有名な名古屋城が浮かぶ方が多いと思います。8月22日は「金鯰の日」名古屋市の市章がまるはちであることから8月、数字の2がシャチホコの形に似ており左右に2つあることから22日としたそうです。

昭和20年に空襲で焼失した後、名古屋のシンボルとして昭和34年に再建された現在の名古屋城ですが、設備の老朽化や耐震性の確保から天守閣の復元が進められています。写真では確認出来ませんが、現在は石垣に足場が組まれています。竣工は2022年12月の予定、名古屋のシンボルとして益々輝いて欲しいものです。

国際ロータリー 第2760地区
ロータリークラブ会員の皆様へ

The letter
from
Governor
ガバナー便り

11月になりました。ガバナー公式訪問も台風で延期になった2クラブを残して、予定通りに終わられることになり、本当に充実した毎日を過ごさせていただいております。

この間、多くの委員会活動や会議およびセミナーが開催され、地区の各委員長さんには活躍していただいています。

特に10月のWFFには多くの方に参加を頂き、昨年よりも多くの来場者があったのではないかと感じております。大変ありがたいことで、ご参加と浄財のご寄付にお礼申し上げます。また、三河の3分区の方が昨年よりも圧倒的に多く参加頂けたことはガバナーとして、大変うれしく思い感謝申し上げます。

今月はロータリー財団月間と言うことで、地区財団委員会の方がクラブ訪問し卓話をされると伺っております。ぱちわーくの方にも書きましたが、R財団は英略号が多いということや申請手続きも含め、補助金事業の説明が分かりにくいという方がおられます。

R財団の組織や補助金の仕組み、申請のやり方、補助金事業例など、聞く側がそこまで予備知識もないので、少々内容が難しいなあとも感じていましたが、地区委員の方も色々工夫されているようなので、今年度の委員会の活動を期待しております。

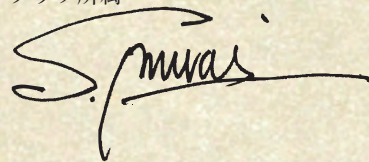
11月はいよいよ地区大会が蒲郡で開催されます。準備万端と言うよりもやっとここまでこれたという感じで、ゼロから出発頂いた蒲郡の皆さんのご努力には頭が下がる思いでいっぱいです。2日目が終わった時に、苦しかったことや、怒りがこみ上げたことなど、多くの心情をお察し申しますが、達成感がそれらを払しょくしてくれるものと信じております。

The letter
from
Governor
ガバナー便り

地区大会にお越しいただき、田中俊實R I会長代理が、W F F会場に鹿児島から地区大会で挨拶するのにW F Fを見ておかないと、言われて奥様と来られました。会場のご案内をしばらくご夫妻で、食事やステージを楽しまれたあと会場を後にされました。

田中様に会場のご案内している間、ご夫妻の真面目で純粋なお言葉に、本当に心を打たれました。この方がR I会長代理で良かったとしみじみと思ったものでした。それでは、皆さんと蒲郡の地でお会いできることを楽しみにしております。

国際ロータリー第2760地区 2018-19年度ガバナー
豊橋ロータリークラブ所属



地区ホームページは[こちら](#)

ガバナーズウェブサイトは[こちら](#)

ろたリー その9 ぱっわく

村井ガバナー的こころ

英文字略号について考える

ロータリー活動をしていて最近感じるのは、英単語を2～3文字で表す言葉が多くなってきていることである。IA、RC、RYLA、RCC、VTT、SAAなどは馴染みがあるのだが、普段の例会ではあまり使わない言葉が増えている。

特に財団関係やRI組織に関することが多い。TRFと言う略語があるが、これはThe Rotary Foundationの頭文字であり、ロータリー財団のことである。他にもDG (District Grants) DDF (District Designated Fund) など、財団のハンドブックなどには多くの記載を見かける。

ちなみに私にとってTRF (trf) と言うと、小室哲哉プロデュースのイージーダンスでおなじみの音楽グループがまず思い浮かぶ。わざわざTRFなどと言わず、ロータリー財団と言っても、R財団と書いてもそれほど面倒でもないように思う。

DDFは長ったらしい英文なので略号でも良いが、略号だけで話すのは、委員会の中だけにとどめて欲しい。新会員や一般会員にはわかりにくいので、話すときにはDDFすなわち地区財団活動資金、書く時はDDF (地区財団資金) とした方が良いと思っている。

クラブ財団委員長会議で、略号しか言わずに説明している地区委員がいるが、聞いている方については行きにくいのが現状ではないだろうか。それがかえって聞く側の理解を難しくしてはいないだろうか。略号から内容がイメージできないのは説明としては不十分ではなからうか。

年度当初の地区財団セミナーで、英略号を話の中で使う時は対応する日本語を話すこと、略号だけで使わないように、と言ったら、英語禁止ルールのようにになってしまい、村井ガバナーは英語を忌み嫌う人となってしまった。

まあ、当たらずも遠からずではあるが。

RI (国際ロータリー) 関連でも、RC (ロータリーコーディネーター) RPIC (ロータリー公共イメージコーディネーター) RRFIC (ロータリー地域財団コーディネーター) などがある。これが補佐になると頭にA (アシスタント) が付き、ARC・ARPIC・ARRFICなどとなる。ロータリー用語になじみの少ない会員に伝わるのかと心配になる。

最近では、COLなる単語を目にすることが多くなった。COLとは規定審議会のことであるが、ロータリー歴も長く、役職経験もある会員ですら『なんだこの言葉の意味は』とつぶやかれていたほどである。

そんなわけで、特に一般会員へ伝える場合は、略語+和文の併記は必要であると思うがいかがだろうか？

公的な刷り物や資料にはこの併記がなされているようだが、地区内で使う委員会で作成された資料やパワーポイントの内容には、この配慮がないものを見かける。委員会内で通じる暗号ではないのだから、と思う次第である。

RCと言えばロータリーコーディネーターと書いたが、ロータリークラブのことも指すのではないのかと思う会員も多いはずである。しかし、RCはロータリークラブの正規の略号ではないらしい。ロータリーの友では縦組みの目次には『本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です』と記載し略号として使用されている。

確かに長い英文を略すのは当然であり、仕方ないことであるが、和文の意味が同時に伝わる方が、理解しやすいのではと考える。

私の子ども時代はNHKとかPTAとか、略号は少なかったし、その和文併記もなかったが不自由はなく過ごしていた。いつの世からか多くの外来語について、日本語に直すところですよと和訳が付くか、このような意味ですよと説明付きで使われるようになってきたように思う。

AKB48などは、スーッと受け入れられているのも現実であるから、と一面では妙に納得もできることではあるのだが。そう考えれば和訳を必ず求めたがる、私一人が時代遅れなのかもしれない。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 總一郎

ろたリー その10 ぱっわく

村井ガバナー的まころ

三度インスピレーションについて考える

ガバナー公式訪問を10月で終えた。台風で1例会が11月末にはなったが、当初の予定は終えることが出来た。

その中で、私が説明した『インスピレーションになる』を聞けなかった会員のために、ここで説明の場を頂くことにした。各クラブのWEEKLYに卓話の詳細を書いていただいてもいるが、ガバナーとして文字化しておくことにする。

私はRIテーマとしての『インスピレーションになる』と『インスピレーションを感じる』は違うと考える。そしてバリー・ラシン氏の講演の中から、インスピレーション=前進の活力と意味づける。これが前提としての説明である。

例として次の話を場面を想像して読んで欲しい。

私がウォーキングをしていたとしよう。もう少し上り坂を歩くと見晴らしの良い展望台のようなところに到着する。そんな時、大きな岩かベンチがあったとしよう、私は腰を下ろして持参したペットボトルのふたを開け水を飲みそして汗を拭く、ああ疲れたもう少し休もうと思った時、スーッと風が首筋を撫でる。私はハッと気づき、そうだもう少し歩いて展望台まで行ってから休むのだと思い再び歩き始める。

私を前進させたのは何だったのか、それは『風』である。風が私にとってインスピレーションとなったのだ。風が前進の活力をくれたのだ。物理的に体を吹き飛ばすような強風でない、そよ風程度のものだ。風は私に動けと言う風に吹いたのではない、誰にでも同じように吹いたのだ、しかし、私にはインスピレーション（前進の活力）となったのだ。

風がインスピレーションとなり、私はインスピレーションを感じたのだ。そう、ロータリアン一人一人の活動、一つ一つのクラブの活動が、周りの人を動かす、前進させる活力となることが、インスピレーションになろう、と言う言葉ではないだろうか。

さらにもう一つの話を読んで欲しい。

日本のロータリー誕生記念の点鐘のゴングをチーンと鳴らす、鐘の音は会場の隅

々まで聞こえる。聞こえた方はいい音色だ、良く響くねと思うだろうから、インスピレーションを感じたという表現となるだろう。ここでインスピレーションになるとは、この鐘自身になろうということではないだろうか、自分から発する音色が周りの人を感化し、その心に何かひらめきを感じさせる。

ロータリアンはこの鐘となることが、インスピレーションになることであると、私はR Iテーマ『インスピレーションになる』をとらえている。

『インスピレーションになろう』は、なかなか難しい様に考えるものであるが、私は以上のように理解し、公式訪問で説明をしてきた。受け手ではなく、送り手となることがこのR Iテーマの神髄ではなかろうか。そしてそれを一瞬にして相手を感じ取るかどうかは、分からない、しかしロータリアンとして、常に思いやりの心で奉仕活動が続けることが、送り手となることだと思う。

ぱっちわーく第1回の結びの『風になる』の説明と申っていただければ嬉しく思う。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 総一郎

新着情報をホームページ(HP)で公開しています

各種お知らせをはじめ定期配信コンテンツは、ガバナー月信発行に合わせHPにて更新します。各バックナンバーも閲覧しやすくなりました。

<https://www.rotary2760.org/g18-19/>

▼コンテンツタイトルをクリックするとリンク先PDFを開きます▼

定期配信

■ガバナー月信サイト

村井ガバナーのコンテンツやブログを掲載
メニュー>ガバナーズウェブサイト(各ページへ)

■ハイライトよねやま

メニュー>月次報告 (PDF)
vol.223 2018/10/12発行

■コーディネーターNEWS

メニュー>月次報告 (PDF)
2018年11月号 2018/10発行

■財団室ニュース

メニュー>月次報告 (PDF)
2018年11月号 2018/10/29発行

■文庫通信だより

メニュー>月次報告 (PDF)
373号 2018/10発行

ロータリー文庫より

これまで文庫通信につきまして、毎月25日発行しておりましたが、より厳選し、今後は隔月の「偶数月」に発行することとなりました。次号374号の発行・掲載は、12月25日(月信1月号)となります。

■風の便り

メニュー>月次報告 (PDF)
vol.6 (通刊51号) 2018/11発行予定

■会員数と出席率

メニュー>月次報告 (PDF)
※2018年10月度分は11月中旬以降の配信となります。

お知らせ・お願い

■ガバナー候補推薦について

今年度の推薦は終了しました。

■各種賞・表彰の概要について

メニュー>お知らせ

■立法案提出のお願い

今年の提出期限は終了しました。

■WFFのお知らせ

メニュー>月次報告>ご案内

■地区大会のお知らせ

メニュー>月次報告>ご案内

■青少年交換のお願い

今年の募集は終了しました。ご協力有り難う御座いました。

活動報告/その他更新記事

「ロータリー財団月間」

によせて

地区ロータリー財団委員長 中村 公彦

ガバナーやスタッフのブログも

ガバナーズウェブサイトで更新中!

■分区内交流だより

本年度は、他クラブ例会への積極的参加を推進しています。

■地区委員会報告

20委員会全ての活動情報を随時更新しています。



最新情報の取得はメールマガジンが便利です!
最新記事リストはメールマガジンでも配信します。リストをクリックするだけで
閲覧したいページをブラウザで展開します。是非、活用ください。

